

福島市市民活動サポートセンター



ふくサポの
広報大使
サボわんでーす

ふくサポ通信

2019年早春号
vol.83



にゃんこ隊長です

<http://www.f-ssc.jp>

にゃんこ隊長が行く！

福島PHP友の会

～「素直な心」について学び、考え合う～

福島PHP友の会は、月刊誌『PHP』（PHP研究所発行）の読者が中心となって、「素直な心になりましょう」をモットーに、勉強会・交流会を行なっている任意団体です。



【毎月開催される月例会の様子】

PHPとは、パナソニック(旧松下電器産業)グループ創業者の松下幸之助氏が提唱した“Peace and Happiness through Prosperity”の頭文字で、“物心両面の調和ある豊かさによって平和と幸福をもたらそう”という意味です。月刊誌『PHP』は、そのための理念と方策を、それぞれの知恵と体験を通じ提案し考え合う一つの場として、昭和22年（1947）4月に創刊され、現在も発行されています。



福島PHP友の会の設立は、『PHP』誌の愛読者であった熊本ヒデ子さんが、郡山市で行われた「PHP友の会全国大会」に実行委員として参加したことがきっかけでした。みんなで一緒になって創り上げるイベントの楽しさや、『PHP』誌を通じて育まれる愛読者同士の交流の様子を見て、「福島市にもPHP友の会を！」との思いから友人・知人に声を掛け2016年10月に立ち上げました。



【講師を務める松下政経塾16期生の
大場秀樹氏】

活動内容は、主にメンバー同士の近況報告と『PHP』誌や松下幸之助氏の著書などの感想を自由に話し合う意見交換を行います。会の魅力について尋ねると「立場も年齢も異なる人同士が繋がる」「幅広い層で学ぶことができる」と熊本さんは語ってくれました。また、年に一度会員でなくても自由に見学できるオープン例会を開催するなど、団体を広く市民の方へ周知する活動も行っています。

『PHP』誌の目次には、松下幸之助氏の「素直な心はあなたを強く正しく聡明にいたします」という言葉が書かれています。「素直が大事」「素直が一番」と言われても中々実践できずにいる方は、一度『PHP』誌を手にとって読んでみてはいかがでしょうか？人生をより幸せに生きるヒントに巡り合うかもしれません。



【木幡市長を囲む福島事務局のみなさん】

「お問い合わせ先」

全国PHP友の会事務局
〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町11
TEL：075-681-4519（平日9：00～17：30） FAX：075-672-9134
メール：syakai@php.co.jp



～総会資料・報告書作成のポイント～

多くの団体は、年度末を迎え総会の開催に向けて準備を進めていることと思います。また、NPO法人は年度末には所轄庁に報告書を提出しなければなりません。そこで、ふくサポで開催した講座などから、ここでは①事業報告と②収支報告を作成するうえでのポイントをご紹介します。

まずは、報告書の種類の確認です。

提出書類は全部で7つ必要となりますが、福島市においては定められた特定の様式はありません。各法人は活動実績の報告書を独自で作成することができます。



基本の基！

事業報告書等提出書の提出者の代表者印は**法人実印**となります。意外と間違いやすいので注意してください。

【事業報告】

①成果と総括

全部読まなくとも、ここを読めば大体の概要や成果がわかるように要点を抑える。

例1) 運営も安定し長期的な展望を見据え、スタッフ研修などの人材育成に力を入れた。

例2) 地元への愛情を持った子どもたちの育成プロジェクト事業として、夏休みに企業や市民劇団との協働事業を開催。子どもたちは地元企業や団体に非常に関心を示した。地縁団体と連携し、防犯グループなどのネットワークができた。

②事業に関する事項

団体が行った個々の事業について記載します。1事業名、2事業内容、3内容の概要（日時、開催場所、参加者数、成果）①と重複するがここで載せることで、活動状況がより伝わります。

例1) **事業名** 助成金講座～実践編～ の実施
目的 実際に申請書を作成することで、より実践的な手法を学び、全国版の助成プログラムで他の申請団体に打ち勝つ力を身につける。

実施概要 2018年8月30日(木)18:00～20:00
 参加者 17名

成果 講座に参加された団体が助成金を獲得し、新規事業を立ち上げることができ、その事業の実施により会員が増えた。

③運営に関する事項

組織運営に関して、いつ何の機関（総会や理事会）でどのようなことが決定、運営されてきたのか。また、会員数の推移や事務局の運営状況を記述することによって団体が確かに存在し、しっかり活動していることを示す部分です。

例1) 総会の開催
 第1回 通常総会
 第2回 理事会 など

例2) 会員について
 2017年7月：正会員50人、準会員50人
 2018年6月：正会員80人、準会員80人 など



| 提出書類 | 部数 |
|---------------------------------------|----|
| 1 事業報告書等提出書（様式第8号） | 1 |
| 2 事業報告書 | 2 |
| 3 活動計算書 | 2 |
| 4 貸借対照表 | 2 |
| 5 財産目録 | 2 |
| 6 前事業年度の役員名簿 （前事業年度において役員であった者の名簿） | 2 |
| 7 社員のうち10人以上の者の名簿 | 2 |

【収支報告】

活動計算書

- ①「事業費計」
事業報告書の「支出額合計」＝活動計算書の「事業費合計」
- ②「管理費」
管理費の総支出額に占める割合が3分の2以下
- ③「前期繰越正味財産額」
前事業年度活動計算書の次期繰越正味財産と一致
- ④「次期繰越正味財産額」
貸借対照表の「正味財産合計」＝財産目録の「正味財産」



貸借対照表

- ①「前期繰越正味財産」
前事業年度貸借対照表の「正味財産合計」と一致
- ②「正味財産合計」
活動計算書の「次期繰越正味財産額」＝財産目録の正味財産

資産合計＝負債及び正味財産（合計）



活動計算書の「次期繰越正味財産額」
 ||
 貸借対照表の「正味財産合計額」
 ||
 財産目録の「正味財産額」

総会はNPO法人にとって最高の意思決定機関です。年に1度必ず開催しなければなりません。総会に必要な事業報告書や組織運営に関する情報を公開することは、信頼を高め、支持者や賛同してくれる方を増やすことにつながります。正確でわかりやすい書類づくりを心掛けましょう！

震災から8年目の春～それぞれの3.11～

先日、女性が涙ながらに3.11の記憶を語った。彼女の語りは会場中に共感をもたらした。同じ経験、同じ考え方をした人ばかりではないはずだが、共通の想いを抱えている。3.11を終わらせることは未だ難しいのである。

あの日からそれぞれが3.11を乗り越えている。ある人は心にそっと蓋をすることで、ある人は不安な気持ちを仲間と話すことで、ある人は忘れることで、ある人は強く前を向くことで……。だからたくさんの進むべき道ができ、多様化したニーズが生まれた。では、誰がそのニーズを満たすのか？



【至る所に設置されている線量計】



【人通りのない町中の様子】

今、多くの時を経て、少しずつ外からの支援の手が消えつつある。福島で復興活動をしてきた人々の顔にも疲労の色が見える。

もし、これまで活動してきた仲間が活動を辞めたら支援を受けてきた人達はどうなるのだろうか？これからは、福島に住む私たち自身が自分ごととして考える時期にきているのではないだろうか。

今年も3.11の夜、キャンドルの灯りがともる。復興に必要な道とは何かを問いかけながら…。

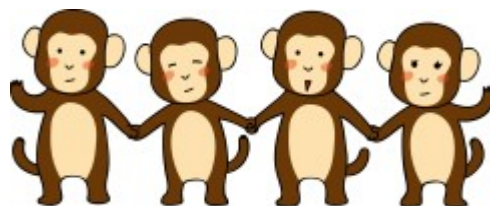
☆ふかちゃんのつぶやき☆

自分の言葉で語る

皆さんも何度かは講演会に参加されたことがあるでしょう。面白かったですか？ 知識やHOWTO・スキルを教えるのではなく人に何かを伝えるという行為は、多くの場合ただ相手に伝わるだけでなく、相手が「共感」し何らかの行動をしてもらいたいから行います。では、「共感を呼ぶ」ってどういうことでしょうか。

講演やレポートで必要なのは、正確な情報と内容の濃さ、一般論だけではなく深堀をした具体的な描写だと私は教えられました。が、それだけで「共感」を呼べるかということ、それは難しいと私は思います。実は人間が共感を覚えるのは、聞き手や読み手と同じような体験や心の動きが描写されている場合においてが圧倒的だと言われています。すなわち、個人的な気持ちや感想などのパーソナルな情報を、相手が望む共感ポイントを見極めた上で伝えることが大切だということです。実は、人間が求める共感の本質、それは「安心感」。人は、他人との差別化を望む反面、自分と同じような感覚や思いを持つ他人とは繋がってきたいのです。だから、ひとつのトピックに対して生まれた個人的な感情を大事にし、心をこめて伝える。そこに「共感」が生まれるのです。

いろいろな想いがこみ上げ、自然に涙が出てきてしまい言葉にならなかった「あいさつ」。あなたにも経験があるでしょう。それを聴いていた何人かの人は、きっと共感を覚えてくれたと思います。コミュニケーションの第一歩は相手に対して「自分のことばで語る！」。やはり人間は感情の動物なんですね。





まちの駅みつけた！！ ～Part⑬～

「まちの駅」とは、地域住民や来訪者が求める情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を持つものです。人と人をつなぐ場であるということから、ヒューマンステーションと呼ぶことができます。

まちの駅 おぐら茶屋

まちなかで美しい風景を見ながらのんびりしたいという方におすすめなのが、まちの駅おぐら茶屋です。おぐら茶屋は、福島県庁近くの阿武隈川沿い、旧日本銀行福島支店長役宅の御倉邸の園内にあります。御倉邸は昭和2年に建てられた立派な和風建築です。私が印象的だったのは川に面した部屋一面に張られたガラス戸です。昭和初期に作られたドイツ製の手づくりガラスが使われており、あの東日本大震災の地震でも割れませんでした。当時の技術力の高さや、質の良さを感じました。以前の福島の発展をしのばせる建物をこれからも大切にしていきたいですね。

おぐら茶屋は、中心市街地における回遊の拠点及びまちなかのにぎわいづくりを目的に作られました。地域の商店などでつくる「NPO法人御倉町かいわいまちづくり協議会」が運営しています。地元の皆さんが集まってアイデアを出し、支えています。メニューは、美味しい手作りお弁当や、名物の厚焼き玉子、ラーメン、コーヒーまでたくさんあります。寒い時期は甘酒が人気で、目の前の阿武隈川や山々など見ながらほっと一息ついて温まってみてはいかがでしょうか。また、イベントやお茶会も定期的に行われ、地元の人が集まる場として大切にされています。10月頃には川をさかのぼってくるサケも見られます。バシャバシャと音を立ててのぼってくる姿は迫力があり、まちなかではめったに見られない珍しい光景です。



【人気のお弁当が並ぶおぐら茶屋の店内】



【阿武隈川を臨む気持ちのいいテラス】



【景色が見渡せる一面のガラス戸】



【重厚な御倉邸の門構え】

NPO代表の蓮沼さんによりますと、「景観のいい場所なので、ぜひみなさんでいらしていただきたいです。今後もより良い環境づくりをしていきます。」とのこと。景色を楽しんで、地元を良く知る明るく元気なおかみさんに福島のことをいろいろ尋ねてみてはいかがでしょうか。

「お問い合わせ先」 ～おぐら茶屋～
 住所：福島市御倉町1-78
 TEL：024-522-2390
 営業時間：11:00～16:00
 定休日：毎週火曜日、12月31日、1月1日

編集後記

- ・ 小高に行って考えました、私たちは震災を乗り越えたのかと。また、そんな季節です。（ふかちゃん）
- ・ 春は別れと出会いの季節。一期一会、人とのつながりを大切にしたいですね。（マータン）
- ・ 日一日と温くなるこの頃。春はもうそこまで来ています！（みー）
- ・ 東風吹かば 飛散(悲惨)始まる 花粉症（タカ）
- ・ 春が近づいてくると、なんだかほっとした気持ちになります。（K）

福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ通信」2019年早春号 vol.83

発行日／2019年 2月28日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
 発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階
 TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 URL <http://www.f-ssc.jp> MAIL f-ssc@bz01.plala.or.jp